【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】　F-4 大槌町

事業番号　★D-23-12-1
事業名　　砂浜復元可能性調査事業（浪板地区）

事業費　総額 0.31 億円（国費 0.25 億円）
（内訳:委託費 0.31 億円）

事業期間　平成 28 年度～平成 29 年度

事業目的

大槌町浪板地区（浪板海岸）は、海水浴やサーフィンを目的に多くの観光客が訪れるなど、大槌町の観光を支える基盤として重要な存在であったが、東日本大震災津波により砂浜が消失してしまい、現状のままでは早期の自然回復は見込めない状況となっている。

浪板地区においては、防災集団移転促進事業等による復興まちづくりが進められており、本地区における砂浜の復元は、誘客の回復や地域住民のコミュニティ強化など、防災集団移転促進事業により形成された高台団地を含む、地域の賑わい・なりわいの再生に資するものである。

砂浜復元の可能性を検討するに当たり、本事業によって、現地を調査するとともに海浜性状等を把握し、養浜による砂浜復元について可能性調査（長期安定性の調査）を行うものである。

事業地区

大槌町 浪板地区　　※別紙の図面・写真を参照

事業結果

○　砂浜復元可能性調査　一式（平成 30 年３月完了）
（計画準備、資料収集整理、現地踏査、基礎調査(深浅測量、底質調査、着色砂調査、波浪観測等)、実態分析、委員会開催、砂浜復元可能性検討、報告書とりまとめ・照査）

○　事業実施に当たっては、浪板海岸砂浜再生技術検討委員会の意見を仰ぐとともに、津波、海岸･漂砂分野の知見を有する学識経験者からの指導、助言を得ながら、所要の調査を行った。

事業の実績に関する評価

①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

［調査・分析］

本調査事業により、「養浜により砂浜の再生が可能」との成果が得られたことから、詳細計画の策定を経て、その後の浪板海岸砂浜再生事業による砂浜の復元へとつながった。

［評価］

上記のとおり、本事業で得られた成果に基づき、詳細な計画が策定可能となり、砂浜の復元が図られたことから、本事業は目的に即した効果を発揮していると判断する。

②　コストに関する調査・分析・評価

［調査・分析］

岩手県会計規則等に基づき契約手続きを行っており、事業費積算においては漁港漁場関係工事積算基準等の算定根拠を用いている。

［評価］

上記のとおり、算定した事業費の範囲内で、会計規則等に基づく契約を経て実施された事業であることから、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③　事業手法に関する調査・分析・評価

［調査・分析］

	想定事業期間	実際の事業期間
調査	H29.3～H30.3	H29.3～H30.3

○　浪板地区では他の復旧・復興事業が実施中であったが、他事業や各種関係機関との調整を密に行い、想定事業期間内に完了することができた。

［評価］

上記のとおり、他事業や各種関係機関との調整を密に行い、想定事業期間内に事業を完了していることから、本事業の手法は妥当であったと判断する。

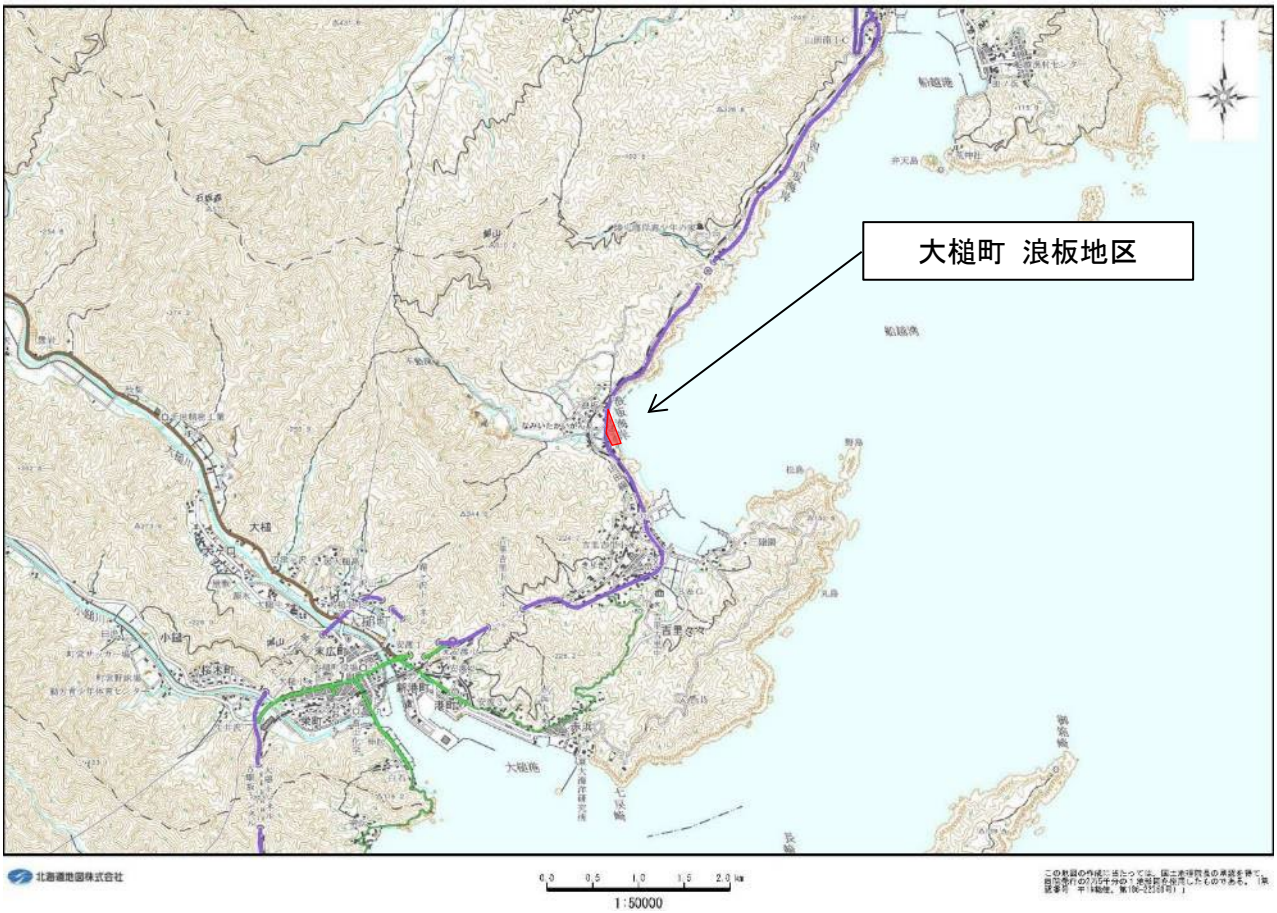
事業担当部局

岩手県 農林水産部 漁港漁村課　電話番号：019-629-5829

別紙

Ｄ－２３－１２－１　砂浜復元可能性調査事業（浪板地区）

＜位置図＞

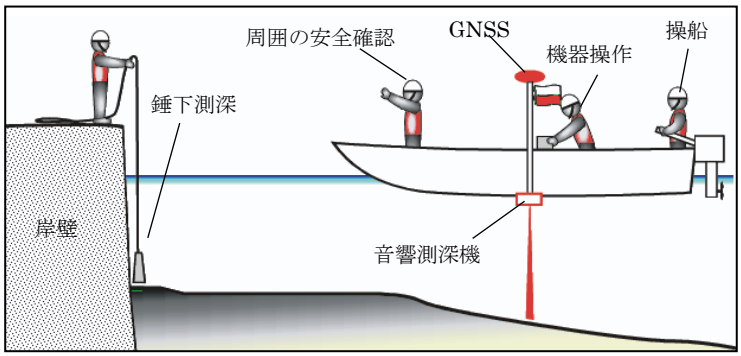


＜平面図＞

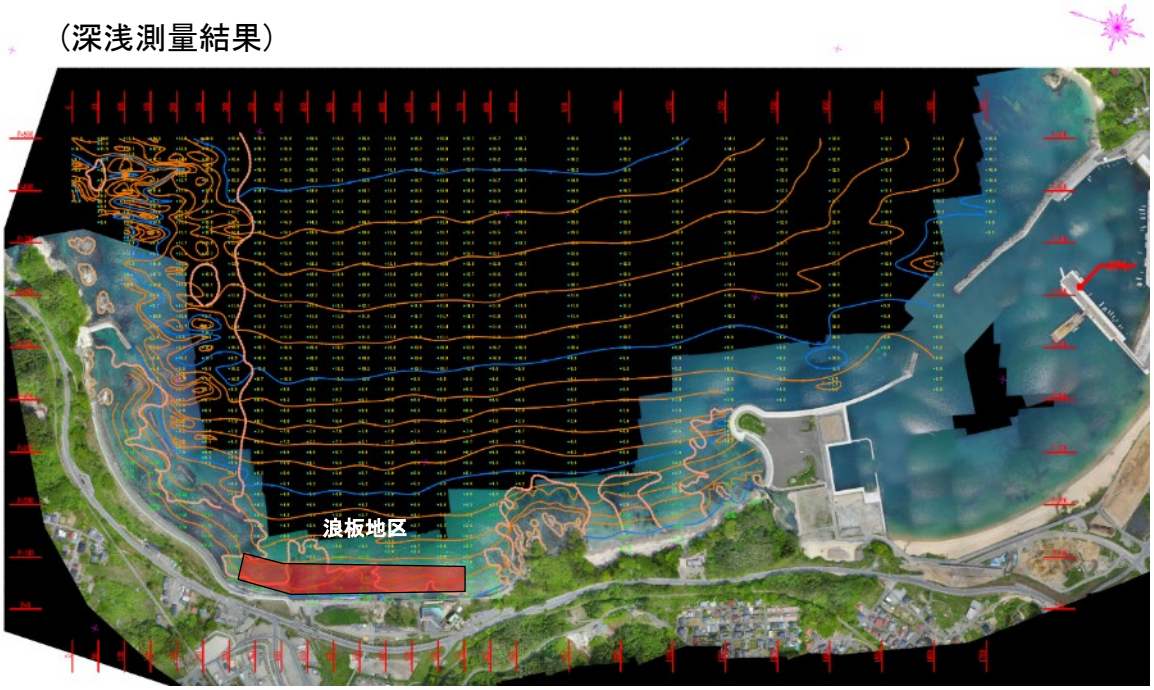
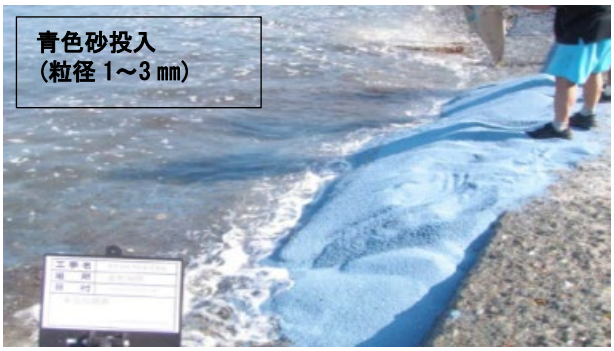
＜調査写真ほか＞

［測量調査の状況］

（深浅測量作業の概念図）



（深浅測量結果）



［水域環境調査の状況］（着色砂による砂の移動特性調査）